



図書館で「うんこ」!?

「今日の朝うんこ出た人!?!」という質問で始まった、絵本作家のおはなし会。先月17日午前中は超大型絵本のおはなし会があり、その日の午後のことでした。午前中にかいけつゾロリやおばけのアッチ、ティラノサウルスと楽しんだ後の出来事で、一瞬固まった子どもたち。県の事業を活用した時の光景です。絵本のタイトルはそのまま「うんこ」、絵は塚本やすし氏。実はこの絵本、我が家にもどういいうわけかあるのですが、「文・谷川俊太郎」が理由で、「しんでくれた」と共にチョイスしていました。

横道にそれましたが、次の本「このすしなあに?」では、塚本さんの「このすしなあに?」の大声での問いかけに、子どもたちも負けなくらいの大きな声で応えるという楽しいおはなし会になり、この日の参加者は300名を越す大人数、図書館としては嬉しい悲鳴をあげました。

❖公共図書館ということ

図書館に勤務して3カ月がすぎました。このコラムを読んでもくださる方からのお声をいただき、更なるプレッシャーを感じる今日この頃。さらに、公共図書館の使命を考えると…。

最近〇〇ファースト、という言葉をよく耳にしますが、図書館でのファーストは言わずもがなですが、公共図書館の主権者すなわち“公共図書館のオーナー”ともいべき利用者の皆さんです。その「利用者」の中には、潜在的な利用者の方も含まれていることはもちろんです。まだ図書館を知らない方も含めて物事を考えていかなければいけない、つまりはより多くの人に図書館を知ってもらい、より多くの人に足を運んでもらうことを考えなければいけないということで、まだまだ私の努力が足りていないことを痛感しています。

❖図書館は静謐な場所?

図書館はどんな場所でしょうか。私自身、靴音が邪魔になるだろうとの思いで、美学?に反し靴音のしないサンダルにしています。それが必要なサイレントスペースもありますが、栗盛記念図書館は4月多目的室とラウンジが増設されました。増設された場所はいわば「にぎやかエリア」といえます。

子どもが騒ぐと迷惑がかかるので、と気を使い足が遠のいている、本を借りたらすぐに帰ってしまう、という保護者の皆さんには朗報の場所がこの多目的室です。

迷惑がかかるので、と気にすることなしに、お子さんと一緒に図書館を体感してください。ラウンジは、2階ロビーと共に飲食が可能な場所です。一日めいっぱい、図書館を楽しんでみてはいかがでしょうか。

❁職員的安全は利用者の安全

今まで事故がなかったことが幸いですが、対策をとったことが二つあります。ひとつは、カウンターの後ろからの出入りを禁止したことです。私自身、前述のように音のないサンダルでカウンターに行き、職員からビックリされたことが何度かありました。これは不審者が入ってきても気がつかないということです。

また、図書館にはたくさんのお出入口があります。東側には並んで二つの出入口がありますが、建物に向かって左側を職員通用口として常時施錠させていただきました。以前ここは、開館前でも入ることが可能でした。常時施錠でご不便を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、皆さんの安全のため、ご理解いただきたいと思っております。

明日 15 日は初めての図書館まつりです。様々な企画で図書館全体が皆さんをお待ちしています。どうぞお出かけください。（保）